

2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月12日

上場会社名 株式会社ジョイフル 上場取引所 福
コード番号 9942 URL <http://www.joyfull.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴見 くるみ
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 野島 豊 (TEL) 097-551-7131
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	52,240	5.2	2,979	△12.7	3,019	△11.0	2,368	△27.8
2024年6月期第3四半期	49,675	14.2	3,413	208.1	3,393	178.6	3,279	167.3

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 2,367百万円(△28.0%) 2024年6月期第3四半期 3,286百万円(162.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	76.63	—
2024年6月期第3四半期	106.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	30,468	12,662	41.2
2024年6月期	30,422	10,427	34.0

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 12,564百万円 2024年6月期 10,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年6月期	—	5.00	—		
2025年6月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	66,890	1.4	3,010	△23.5	2,970	△24.1	2,770	△16.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年6月期3Q	31,931,900株	2024年6月期	31,931,900株
2025年6月期3Q	1,010,595株	2024年6月期	1,030,788株
2025年6月期3Q	30,907,745株	2024年6月期3Q	30,886,571株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費において持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にありますが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の長期化、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢の長期化、通商政策などアメリカの政策動向による影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においては、個人消費やインバウンド消費は増加傾向にありますが、昨今の米の価格の高騰や、エネルギー価格、人件費、原材料価格の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売の強化、社員独立フランチャイズ店舗の拡大など子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を1回、「ごちそう熱旨づくし」「春の味わいキッチン」などのフェアを5回行いました。

グランドメニューの改定では、国産紅ずわいがにをたっぷり使った「ハンバーグ&かにクリームコロッケ」や大分県発祥のジョイフルならではの九州名物メニューに「たっぷりタルタルソースのチキン南蛮定食」を追加するなど充実を図りました。また、お客様からのご要望の多かった「和風ハンバーグ」や「野菜たっぷりちゃんぽん」を復活させました。春フェアでは、牛100%ハンバーグと牛サガリによる、牛肉を思いっきり楽しめる「和風おろしハンバーグ&牛サガリうすぎりステーキ」、お肉のコンボでご飯がすすむ「牛焼肉とおろし唐揚げ定食」、「牛すき煮とロースかつの旨味とじ定食」やチキンと14種のスパイス香るドライカレーを熱々の鉄板で楽しめる「ガーリックチキンの鉄板ドライカレー」、春らしい色鮮やかで優しい味わいの「トマトソースのチーズオムライス」、スイーツではフレッシュな苺と、チーズケーキ、白玉あずき、ショートケーキアイスなどの食材を使用した春ならではのデザートをご用意しました。

さらに、8月にPEANUTSとのコラボレーションメニュー第2弾を販売したほか、冬には人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションを2回にわたり行い、「竈門炭治郎（かまどたんじろう）の炭焼きソースハンバーグコンボ」「蟲柱 胡蝶（こちょう）しのぶの藤色蝶々パフェ」などの商品を販売し、累計100万食を達成しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティ維持・向上を目的に作業チェックシートを活用してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、PEANUTSとのコラボレーションTVCM第2弾やジョイフル宣伝部長の秋山竜次さん（ロバート）が出演する新TVCM「秋だ、ジョイフル？」を放映しました。さらに、7月には首都圏のお客様に向け、「美味しくて楽しいジョイフル」をご体験いただくために、渋谷PARCOに期間限定でPOP UPストアをオープンしました。12月には全国の店頭でのQRコード決済の導入を順次開始し、更なるお客様の利便性の向上を図っております。3月には大好評いただいている今期2回目となる一般のお客様やマスコミを対象とした新商品試食会&福岡工場見学ツアーの体験イベントを開催し、世界にひとつだけのオリジナルパフェ作りや、製造・配送の様子を見ることができ工場見学を行いました。また、店頭でのQRコード決済を全店に導入し、更なるお客様の利便性の向上を図っております。

当第3四半期連結累計期間における店舗数は、グループ直営店6店舗の出店、グループ直営店2店舗の退店により660店舗となりました。また、グループ直営からフランチャイズへ65店舗転換を行ったことにより、グループ直営454店舗、F C206店舗となりました。

以上の取り組みを行った結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は52,240百万円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益は2,979百万円（前年同四半期比12.7%減）、経常利益は3,019百万円（前年同四半期比11.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,368百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

なお経営指標としている「総資本経常利益率」「売上高経常利益率」「労働生産性」及び「株主資本当期純利益率」の数値改善のため、より一層の経営努力に努めてまいります。

また、当社は保険代理店業を行う特例子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微であり、当社グループの報告セグメントがレストラン事業一つであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

i) 資産の部

当第3四半期連結累計期間の総資産は30,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円の増加となりました。

これは主に、有価証券の減少1,750百万円、建物及び構築物の増加702百万円、投資その他の資産その他の増加545百万円、売掛金の増加498百万円、現金及び預金の増加208百万円、工具、器具及び備品の増加129百万円、商品及び製品の減少100百万円、原材料及び貯蔵品の増加94百万円、流動資産その他の減少92百万円、リース資産の減少71百万円、無形固定資産の減少52百万円、機械装置及び運搬具の減少48百万円によるものであります。

ii) 負債の部

当第3四半期連結累計期間の負債合計は17,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,188百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金の減少1,256百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少864百万円によるものであります。

iii) 純資産の部

当第3四半期連結累計期間の純資産合計は12,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,235百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金の増加2,213百万円によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,726	1,934
売掛金	1,126	1,625
有価証券	1,750	—
商品及び製品	684	583
原材料及び貯蔵品	912	1,006
その他	806	713
流動資産合計	7,006	5,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,402	10,105
機械装置及び運搬具（純額）	1,400	1,351
工具、器具及び備品（純額）	551	681
土地	7,244	7,244
リース資産（純額）	373	302
建設仮勘定	37	29
有形固定資産合計	19,010	19,714
無形固定資産	362	309
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,547	2,539
貸倒引当金	△0	△0
その他	1,496	2,041
投資その他の資産合計	4,043	4,580
固定資産合計	23,416	24,605
資産合計	30,422	30,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,874	2,423
短期借入金	10	110
1年内返済予定の長期借入金	2,375	1,510
未払費用	2,916	2,222
未払法人税等	105	137
未払消費税等	801	374
賞与引当金	100	409
店舗閉鎖損失引当金	—	4
その他	1,895	2,091
流動負債合計	10,079	9,281
固定負債		
長期借入金	5,115	3,858
役員退職慰労引当金	152	152
退職給付に係る負債	914	849
資産除去債務	3,164	3,188
その他	568	474
固定負債合計	9,915	8,523
負債合計	19,994	17,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	4,237	4,229
利益剰余金	7,417	9,631
自己株式	△1,540	△1,510
株主資本合計	10,214	12,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	11
土地再評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	63	68
退職給付に係る調整累計額	32	35
その他の包括利益累計額合計	128	113
非支配株主持分	84	98
純資産合計	10,427	12,662
負債純資産合計	30,422	30,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	49,675	52,240
売上原価	16,367	19,319
売上総利益	33,307	32,921
販売費及び一般管理費	29,893	29,941
営業利益	3,413	2,979
営業外収益		
受取利息	4	5
不動産賃貸収入	84	81
その他	61	112
営業外収益合計	150	199
営業外費用		
支払利息	93	71
不動産賃貸原価	59	60
その他	17	27
営業外費用合計	170	159
経常利益	3,393	3,019
特別利益		
固定資産売却益	29	21
特別利益合計	29	21
特別損失		
減損損失	26	42
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	6
特別損失合計	26	48
税金等調整前四半期純利益	3,396	2,992
法人税、住民税及び事業税	215	188
法人税等調整額	△110	423
法人税等合計	104	611
四半期純利益	3,292	2,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,279	2,368

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	3,292	2,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△21
土地再評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	16	5
退職給付に係る調整額	△8	2
その他の包括利益合計	△5	△13
四半期包括利益	3,286	2,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,270	2,353
非支配株主に係る四半期包括利益	15	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、報告セグメントがレストラン事業一つであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	1,270百万円	1,292百万円